おーい！くじらぐも

Vol.18　2022 年（令和 4 年）12 月号

発行人：（福）健翔会　相談支援センターくじらぐも
所在地：埼玉県行田市小見 1141 番地 1
TEL：048-580-3634　FAX：048-554-8814
MAIL：kujiragumo@kenshokai.net
発行責任者：くじらぐも　センター長　細川竜太

福祉サービスを利用するためには「くじらぐも」が作る『サービス等利用計画」が必要です。

「くじらぐも」は障害者総合支援法により、障害者・障害児に対し相談支援事業を提供する健翔会の第 4 号事業所です。

今年も大変お世話になりました。多くの方と出会い学び多き 1 年でした。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

様々な事情があり、アパート生活からグループホームへの移行をお手伝いしました。

くじらぐもは趣味を一緒に探すお手伝いもします。昔、得意だったという話を聞き、卓球サークルを紹介しました。

蕎麦やフルーツ、ヨーグルトそしてビールを添えたらもう立派な機内食！

『だらしがなくてもよい！？』

くじらぐもと契約するときには、必ずアセスメント（解決すべき課題・可能性を把握するために情報の収集・分析をすること）を行っています。そのアセスメントの内容を頼りに、ご本人のニーズに基づいたサービス等利用計画案を作成し、同意をもらい、その計画に沿って福祉サービスや社会資源の提供が行われていきます。以前、このようなケースがありましたのでご紹介します。

アセスメントを行った際のニーズは「〇〇をやりたい」とか「こういう自分になりたい」のような前向きなもの、努力をするもの、頑張ることが前提条件になりがちです。私が担当している方のニーズは「余計なことはしたくない」とか「人とはあまり関わりたくない」などの内容でした。このようなニーズを取り上げて、その実現のための計画案を立てることは、正直少ないです。

日中活動の場所やグループホーム、就労など、普段一定の人数の人が生活・暮らす場所なので、一定の決まりや約束事をお願いしなければいけませんが、基本はご利用者一人ひとりの「個の生活」を積み重ねた共同生活の場です。大切なことは、ご利用者の生活を包括的に捉えて理解することです。そして、まるっと捉えるということは、きちっとしたところだけではなく、だらしがないところも、それが人のありようとして大事にしていくということだと教わりました。もちろん、前向きな目標に向かって進むことや進むべき方向が見えなければ、一緒に探していけばいい。「強さと弱さ」「社会生活とプライベート」「理性と感情」など、様々な相反する側面を理解し肯定していくことが大切なんですが、これがとても難しい。多くの人と出会い、多くのことを教わった 1 年でした。「一期一会」「日々勉強」「傾聴」、生涯続く私の大切にするべきものです。

＜12 月のトピックス＞

コロナ禍のなか、まだまだ外出を自粛している方も多いと思います。そんななか、私が今楽しんでいるのがこれ！「置換えトラベル」です。旅行に行った気分になれる楽しみ方を紹介します。

『某航空会社の機内食をお取り寄せ・・・』

飛行機に乗った気分でランチ！温めた数種類の機内食と飲み物、デザート、ヨーグルトまで用意します。見た目が国際線の機内食！BGM に各航空会社のミュージックを流せば完璧です。とはいえ、脳が騙されている時間は、そんなに長くはありません。（笑）

日中活動の事業所などで実施するのも、楽しいのではないでしょうか。行った気分になる企画を味わえるのも、今だけの特権です。ポジティブシンキングで乗り越えましょう。